

魔法の medicine プロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 中山 めぐみ 所属: 平群町立平群中学校 記録日: 2021年 2月24日

キーワード: ADHD・読み書きの困難・学習支援・気持ちのコントロール

【対象生徒の情報】

- 学年 中学 2 年生 (14歳)
- 障害名 注意欠如多動性障害 (ADHD)・
- 障害と困難の内容
 - ・学習空白 (小学校) があり、読めない漢字が多く、自発的な学習が難しい。
 - ・文章を読むと、どこを読んでいるか分からなくなり、内容が頭の中に入らない。
 - ・漢字、英単語を覚えられない。
 - ・授業の内容が分からなくなると、不安が高くなり、教室を飛び出す。

【活動目標】

- ① 特性に合った学び方を見つける。
 - ② 集団の中で、自分の良さを発揮する。
 - ③ 進路への見通しを持つ。
- 実施期間 2020年 6 月 ~ 2021年 2 月
- 実施者 中山 めぐみ ○実施者と対象生徒の関係 通級指導教室担当

【活動内容と対象生徒の変化】

- 対象生徒の事前の状況

生活面

- ・中学入学後、医療機関にかかる。
- ・聴覚過敏があり、ノイズキャンセリングヘッドフォンをいつも持ち歩いている。
- ・相手の話の一部だけを誤解して捉え、相手を誹謗中傷するため人間関係のトラブルが多い。
- ・授業内容が分からなくなるとストレスが大きく膨れ上がり暴言・教室からの飛び出し等、感情のコントロールが難しくなる。
- ・忘れ物がないように、教科ごとに袋を決め、整理している。課題の提出についても、忘れないか心配し、自分なりに分かりやすいように様々な色ペンを使って、予定表に書き込み、何度も確認している。

学習面

- ・数学の授業では、専門用語 (例えば「移項」等) を使った説明を聞くと、用語の意味が分からないので理解することをすぐにあきらめてしまう。そのため黒板の内容をノートに写すことはできるが、授業の内容は全く理解できていない。
- ・小学 3 年生以上の漢字を読むことが難しい。
- ・学習意欲は高いが、時間が経つと、学んだことや分からないことを質問したくても質問内容すら忘れてしまう。頑張っても、すぐに忘れるので自信をなくしている。
- ・英語の発音はできるが、単語を書くことが苦手である。ローマ字で単語を書こうとする。
- ・定期テストでは合理的配慮として問題文の「読み上げ」、問題用紙の「拡大」を実施している。

検査結果


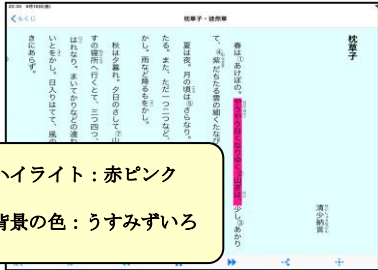



- ・URAWSS-English E→J 課題 ① 評価 B ② 評価 B 「音声読み上げの効果」: やや効果あり
- J→E 課題 ① 評価 C ② 評価 B 「カナ表記の効果」: やや効果あり

○ 活動の具体的内容



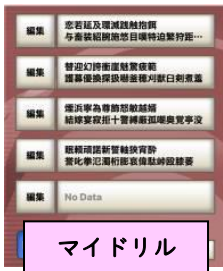

目標 ① 「特性に合った学び方を見つける」

○ 「読み」・「書き」の力を、アプリを使って高める。

① 授業の内容理解を深める

	<p>デージーポッド：家庭学習 毎日 30分程度</p> <p>「ルビがある」「背景の色が選べて見やすい」という理由で使用することになった。予習では、ハイライトを追って音声を聞く。復習では、「ルビ」を見ながら音読する。このアプリを使って復習を行うことで、改めて「読み上げ」の配慮が自分に必要であることが分かった。</p>  <p>ハイライト：赤ピンク 背景の色：うすみずいろ</p>  <p>生徒の声</p> <p>今まで「ルビ」があれば教科書の内容が理解できると思っていた。「読むことに必死で、内容が全然頭に入らない。」ことに気づきました。「読み上げ」は私にとって、とても必要です。</p>
	<p>NHK for school：家庭学習 週1回・2回程度</p> <p>社会の予習として活用した。長期休校中はよく利用していたが、課題が増えるにつれて課題に時間がとられるため、これを活用する機会は一学期に比べ減っている。今はテスト前に分からなかったところを確認するために使用した。</p>
	<p>ボイスメモ：家庭学習 週1回・2回程度</p> <p>2学期は、人間関係のトラブルから聴覚過敏がひどくなった。授業者の声の方が頭に入りやすいということで「ボイスメモ」を活用。国語や英語の担当の先生方に本文を読んでもらい、それを録音した。予習や暗唱テスト対策として、本文の内容や英語の発音の確認に活用した。</p>

② 漢字の「読む力」・「書く力」をつける

	<p>書き取り漢字：通級指導教室・家庭学習 週2～4回 10分程度</p> <p>学習空白のため読めない漢字が多い。「書き取り漢字練習」の「学年別テスト」で、小学3年生以上の漢字を読むことが難しいことが分かった。そのため、小学校の範囲の漢字については「書き取り漢字練習」の「とことん練習」で小学3年生の漢字から「読み」を中心に復習した。中学校で学ぶ漢字については「マイドリル」で1ヶ月に200個程度「読み」・「書き」を練習した。</p> <table border="1" data-bbox="427 1556 699 1792"> <tr><td>小学校1年生で習う漢字</td><td>90点</td></tr> <tr><td>小学校2年生で習う漢字</td><td>95点</td></tr> <tr><td>小学校3年生で習う漢字</td><td>80点</td></tr> <tr><td>小学校4年生で習う漢字</td><td>75点</td></tr> <tr><td>小学校5年生で習う漢字</td><td>85点</td></tr> <tr><td>小学校6年生で習う漢字</td><td>55点</td></tr> </table>   <p>学年別テスト とことん練習 マイドリル</p>	小学校1年生で習う漢字	90点	小学校2年生で習う漢字	95点	小学校3年生で習う漢字	80点	小学校4年生で習う漢字	75点	小学校5年生で習う漢字	85点	小学校6年生で習う漢字	55点
小学校1年生で習う漢字	90点												
小学校2年生で習う漢字	95点												
小学校3年生で習う漢字	80点												
小学校4年生で習う漢字	75点												
小学校5年生で習う漢字	85点												
小学校6年生で習う漢字	55点												
	<p>常用漢字筆順辞典：通級指導教室・家庭学習 週2～4回 5分程度</p> <p>画数が多い漢字については「常用漢字筆順辞典」のアプリを使って「筆順」を確認しながら、漢字の練習を行った。</p>												

③ 英語「読む力」・「書く力」をつける

	<p>早打ち英文法：通級指導教室 週1～2回 10分程度</p>
	<p>すごい英単語帳！中学～大学入試全範囲対応：家庭学習 週2～4回 10分程度</p>
	<p>Quizlet：通級指導教室 週1～2回 10分程度</p>
	<p>発音とタッチで覚える中学英単語1200：家庭学習 毎日</p>

「もう一度やりたい」と思える、楽しみながら活用できるアプリを生徒と一緒に選んだ。通級指導教室の授業で「空所補充」「整序英作」を使って練習した。問題数が5問と少なく、達成感を感じやすいため、生徒も楽しんで取り組んだ。

家で発音・スペルの練習ができるように「音声機能」があるアプリを利用した。単語テスト対策として主に使用した。残念ながら熟語については使用できない。間違った部分がどこなのかを明確に示してくれるので、スペルミスが減らすことができる。

教科書の本文に出てくる英単語を「マッチ機能」を使って練習した。単語の意味が分かると本文の内容が理解しやすくなり、大体の意味を捉えることができる。主に授業中活用した。

今まで学んだ英単語が書けないことには定期テストの点数を上げることが難しい。中学1年生の英単語から復習できるアプリを活用した。表グラフがあり達成度が確認できるので達成感が得られやすい。このアプリは、ほぼ毎日気に入って使用していた。「日本人読み」「ネイティブ読み」の2つの音声機能があるのが特徴。

意味綴りが非常に似ている単語を区別することが難しいことが分かったので、右のようにイメージを使って練習を行った。

課題の提出に日々追われる中で大変だが、目標が明確になると短時間で学べるアプリは学習効果が高い。また、定期テスト対策として利用できるアプリ（中学英単語）については「楽しい」と言って取り組んでいた。



○ 学習の基礎・基本の定着。

One Note：通級指導教室・家庭学習 週4回程度 20～30分程度

「One Note」は1ヶ所にすべての教科の内容を保存することができるので、ノートやプリント、メモをなくす不安から解消される。写真や、音声、動画なども簡単に埋め込んで、授業で分からなかったところを自分に合った分かりやすい方法で復習することができる。ノートを繰り返し見返すことで、自分が覚えきれていないところや、忘れていたところを再確認できるので、学習の内容が定着しやすい。授業の基本だけをまとめた通級指導教室の黒板を写真に撮り、問題を解くときに確認しながら問題を解いている。



テスト対策で、校長と勉強している様子






校長と一緒に勉強したことをメモにし、それを写真に撮った。特に重要な語句について、書いて練習。

テストで、見事正解！！

	<p>Office lens：通級指導教室・家庭学習 週4回程度 20～30分程度</p> <p>「重要なキーワード・公式」を本人と確認し、ホワイトボードに書いたものを「Office Lens」で写真に撮り、記録として残し、家で何度も見直し、それを見ながら課題を解くこともあった。</p>
	<p>Apple Pen：通級指導教室・家庭学習 週4回程度 20～30分程度</p> <p>書く時に、文字の太さ、色が選べ、書き間違えたとしても消すことが非常に簡単。対象生徒は「虹色」を好んでよく使っていた。</p>
	<p>Google Meet：家庭学習 テストの前日</p> <p>2学期の期末テスト対策として、「Google Meet」を活用し、オンライン授業を行った。英語のテストができず、かなり落ち込んだので、次の日に行われる数学のテストに向けて、基礎・基本の確認を行った。塾では頑張って何枚ものプリントをしていたが、プリントに取り組むことに必死になり、内容が頭の中に全然入っていなかった。「One Note」を使って復習を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="328 645 671 943">  <p>三角形の合同条件？</p> </div> <div data-bbox="699 654 1129 931">  <p>OneNoteで復習</p> </div> <div data-bbox="1161 654 1490 931">  <p>「三角形の合同条件」、見事正解！</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="328 943 663 999"> <p>オンライン授業の様子</p> </div> <div data-bbox="730 943 1086 999"> <p>OneNoteで復習</p> </div> <div data-bbox="1209 943 1433 999"> <p>数学のテスト</p> </div> </div>
	<p>画面収録：家庭学習 毎日</p> <p>毎日、アプリの課題に取り組んでいるが、家に帰ると、どのアプリのどれをやれば良いのかを忘れてしまう。やるべきところを画面に収録して家で確認しながら課題をこなしている。</p> <p>「設定」の「コントロールセンター」をクリック、「画面収録」を選択する。次に「コントロールセンター」の画面で、「画面収録」のアイコンをタップすれば、簡単に画面収録ができる。これは、彼女が自分で見つけて行い始めたもので、とても便利に使えるので先生方にも紹介したが、とても好評だった。</p>

○ 情緒の安定を図る。



	<p>LINE：保護者との連絡用 1学期より使用</p> <p>今回の研究にあたり、校長、学級担任、対象生徒、通級指導教室担当者とし合いを行った。その後、保護者からの希望で、「LINE」で連絡を取り合うことになった。学校での悩みや相談があるときは、母親からすぐに連絡があり、こちらが迅速に対応できるようになったので、不安定な状態は減ってきた。</p>
	<p>By Talk for school：生徒との連絡用 2学期より週5日使用</p> <p>2学期になり、対象生徒から、「母親に聞かれないこともあるので、直接連絡がしたい」「今日やるべき課題を教えて欲しい」等と懇願され、2学期から、「By Talk for school」を始めた。疑問に思った時はメールで直接伝えられるので、課題に対しても積極的に取り組むようになった。10月頃、人間関係のトラブルから、感情のコントロールが難しくなり、教室を飛び出す回数が増えた。その対応として、「1：ふつう」「2：少しやばい」「3：やばい」の自分の気持ちを示すカードを作成した。「2」の状態を、「By Talk for school」で伝えてきたり、カードを先生方に見せたりすることで、周りの教師が積極的に関わることができるようになり、教室を飛び出す回数が減った。</p>

	 <p>朝、連絡が来るようになり、先生方と連携して対応できるようになった。</p>	<p>今日のハートは</p> <p>❤️ 2ぐらいに迫ってるから...w ちょっとヤバイかな〜って感じw</p>
	<p>Palu： 家庭学習（記録として使用） 2学期より、基本毎日使用</p> <p>できないことばかりが目につくため、今日頑張ったことを「Palu」に記録した。「スタンプがかわいい」と気に入って使っていた。2学期後半は、不安定な状態が続き、「できることはない」と言い、家で記入することが難しい時もあった。気持ちがかなり落ち込んでいる時は、放課後、通級指導教室で本人の頑張っているところを褒め、一緒に考え記入した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="336 846 571 898"> <p>11月の予定表</p> </div> <div data-bbox="611 651 852 898">  </div> <div data-bbox="895 633 1129 898">  </div> <div data-bbox="1150 633 1369 898">  </div> </div>	


目標 ② 「集団の中で、自分の良さを発揮する」

① 先生方からの声掛け


自信が持てない彼女に対して、周りの先生方は、「大丈夫」、「いつでも話において」、「君のままで良いよ」と声掛けをした。また、大好きな社会の先生から、「点数が全てではないよ。君の頑張りは、素晴らしい。」と褒められ、とても喜んだ。

	<p>Power Point： 通級指導教室 2学期 3回</p> <p>ALT のローズ先生が、彼女に「できないことは、あなたの一部。だから、できないことに気にしないで」と、パワーポイントを使って、英語で応援メッセージを伝えてくれた。日本語に訳すなどのサポートは一切しなかった。後で内容を確認したが、すべて理解できていた。</p>	
---	---	---

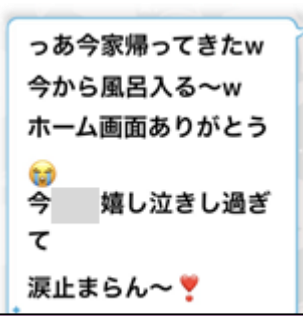
ホーム画面に「私、いらないよね？誰の目にも写らない」といったメッセージを書いていたので、先生方と相談し、ホーム画面を左のように変更した。ロック画面は、ミッキーマウスが好きで、よく変更していたが、このホーム画面は気に入り、現在も使用している。



以前のホーム画面



変更したホーム画面



By Talk for School より

② ステップ教室の紹介ビデオ

英語の発音は本人の得意とするところだが、「暗唱テスト」では文を思い出すことで必死になり、自分の力を発揮することができなかった。「彼女の力」を発揮できるよう、新1年生に向けて、ステップ教室の紹介ビデオを英語で作成した。

CapCut： 通級指導教室 2 学期 3 学期

今回のビデオの編集については、中学3年生の生徒がすべて編集した。その生徒が使用したのが、この「CapCut」だった。アプリの紹介の原稿を本人が作成し、「Google 翻訳」を使って、英語に訳した。英語の発音は、ALT のローズ先生が協力して下さった。小学校の「ことばの教室」の先生と話し合い、新1年生の実態に合わせたアプリの紹介をするため、現在ビデオを再編集中である。



友だちや先生方からの動画を見ての感想

小さい頃から、英語をやっているだけあって発音が違うな！

ここまでの発音をマスターするのは、大変よね？かなり長い文だし、練習はどれだけの？本当によく頑張ったね！！

こんな力が、あったんや。凄いな！

見直した！！

自分の頑張ったことが褒められて、本当に嬉しいです！！

このアプリって？どうやって編集したの？

写真が貼れるから、良いよ！

「書く」ことが苦手な子だから、「One Note」は良いね。

「すごい！」英語の発音こんなに良かったのね。

平群小学校
「ことばの教室」の先生と相談

45

人と比べてばかりで「自分はダメ」と口にする事が多かったが、彼女の良いところを周りから認められることで、少しずつ自信を取り戻した。三学期、先輩の友達ができ、以前のように朝早く学校に来るようになった。一番に教室に行き、対象生徒が一人教室の机を整理する姿を見て、その先輩が「みんなのために偉いな」「そういう気持ちがあるって、すごいな」「そういうことはなかなかできることじゃない」と褒めた。それから学級の活動にも以前より前向きに参加するようになり、特に掃除の場面では積極的に活動している。自分のできるところで、自分なりのペースで活動できるようになった。

目標 ③ 「進路への見通しを持つ」

① 進路希望

対象生徒には将来「介護に関わる仕事がしたい」という夢がある。県内の公立高校には「介護福祉士」の国家試験に対して高い合格率を誇る学校がある。仲の良い中学3年生 A と一緒に「進路について」話す機会を持った。A は「私は不登校だったから不登校の生徒に対して支援が手厚い学校を選んだ」と答えた。それを聞いて「私も自分の夢はあるけれど、何よりも自分を理解している学校かどうか、それが一番大切。」と答えた。「どの程度支援してもらえるか、とても大事だよ。」と A が言った意見に、深く頷いていた。さらに「A と同じように、支援が手厚いと言われる高校で考えていきたい。」と答えた。

② 英検5級の取得

授業の英単語テストでは点数が取れるようになってきたが、定期テストでは英文が書けたとしても一文字抜けている等のミスが多く、なかなか点数が上がらなかった。英検は選択形式なので、定期テストほど正確に英文を書くことが要求されない。最初は「自信がないから、怖い」と言っていたが、過去問を解くと、合格圏内にいることが分かり、自信を持ってテストに臨むことができた。「旺文社の過去問題集」は、タブレット



旺文社 英検5級3回過去問題集

で QR コードを読み取ると、マークシートが出て、リスニングテストもタブレットで行うことができ、すぐに右の図のように結果が出て、自分の力が今どの程度なのか明確に知ることができる。「テスト当日、焦る気持ちを抑えることが難しかった」「席を立ったら失格になるので、立ちたい気持ちを抑えることが大変だった」「テスト開始までの時間が長くて、緊張で死にそうだった」と言っていた。「高校入試もあんな感じなんやろな」と試験会場の雰囲気を経験できたことも、彼女にとっては良い経験になった。結果は見事合格。当日のテストでは、リーディング、リスニング共に正答率が今までで一番良かった。

③ 高校説明会

中学2年生になると、「高校と言っても、どのような高校があるのか」「自分がしたいことは何か」「私立」と「公立」の違いは「高校は、私たちの特性の理解をしてくれるのかな?」と進路に向けて、興味関心を持つようになる。3月には、通級指導教室で、中学2年生に向けて、高校の説明会を「Google Meet」で行う予定である。

○ 対象生徒の事後の変化

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

タブレットでの上記のアプリを活用した学習を通して、学習における「読み」の困難さ、「記憶」の弱さに対して、自分で方策を見つけ、対応できるようになった。それが自信につながり、通級指導教室での指導では、「今日こういう方法を見つけてやってみた」と、学習に対して前向きな姿勢が見られるようになった。今は授業の内容が分からないことで、不安が高まり、教室を飛び出すことはなくなった。読める漢字も増え、ほとんど教科書は自分で読めるようになった。周りの先生方からも、「随分教科書が読めるようになってきた。」と聞いている。



情緒の安定のために保護者と「LINE」で連携を取った。問題が起こった時に早期に対応できるようになった。保護者も子どもの特性理解を深めて、不調を訴える時は、あまり無理をさせないように対応している。

テスト時の合理的配慮について、テストでの自分の困り感を伝えられるようになった。努力してもテストで結果が出ない時もあったが、今は結果だけでなく、頑張った過程も認められるようになり、自己肯定感は高まっている。

・エビデンス(具体的数値など)

○学習への姿勢

以前は理由をつけては、学習を避けてきた。少しずつ学習への理解が深まりテストで結果を残すことができたので、以前よりも課題に積極的に取り組むようになった。「決められたことはやろう」と意欲的に学習に取り組んでいる。

休校中の課題

◎テスト後の感想・反省

数学かできたかたのでもっと教とりたいと思いました。後の年の教科書か入りたいです。

1学期期末テスト後の感想

◎テスト後の感想・反省

社会のテストの点数めとて低く感じてはるかたいです。またテスト勉強したのにテストでの頑張りが発揮出来なかつたこと悔しいです。

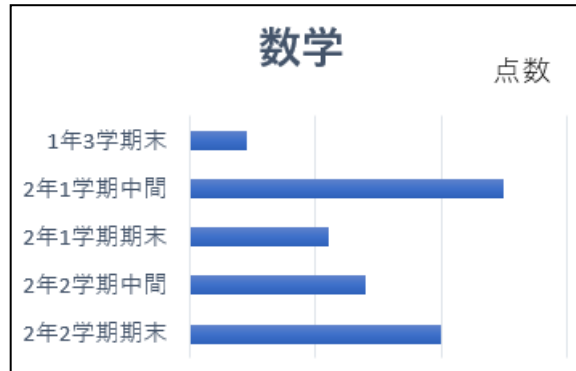
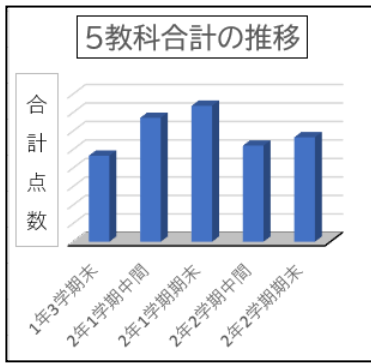
2学期期末テスト後の感想

○評価では見られない学習面の成長

かなりの量の課題とテストが重なり、どの生徒も本当に大変な2学期。「書き取り漢字練習」「中学英単語」は毎日こなしていた。12月に行った「学年別テスト」では、小学6年生の点数が55点から85点に上がっていた。「とことん練習」においても満点が増えてきた。どうしても間違えてしまう漢字があるので、すべて満点まではいかないが、今は「ぶ」と言うと、さまざまな漢字が頭に浮かび、書けるようになっている。中学英単語も達成率が100パーセントを超えて、今は覚えられない英単語の数を減らすことに頑張っている。

学年	点数
小学校1年生で習う漢字	90点
小学校2年生で習う漢字	95点
小学校3年生で習う漢字	100点
小学校4年生で習う漢字	95点
小学校5年生で習う漢字	85点
小学校6年生で習う漢字	85点

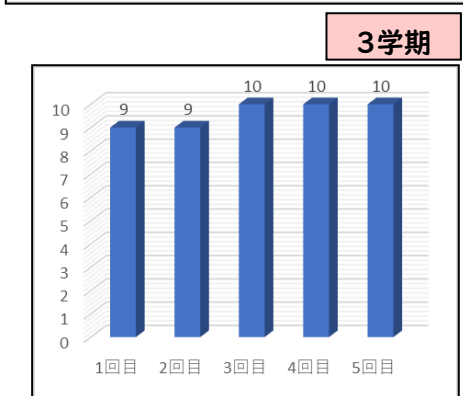
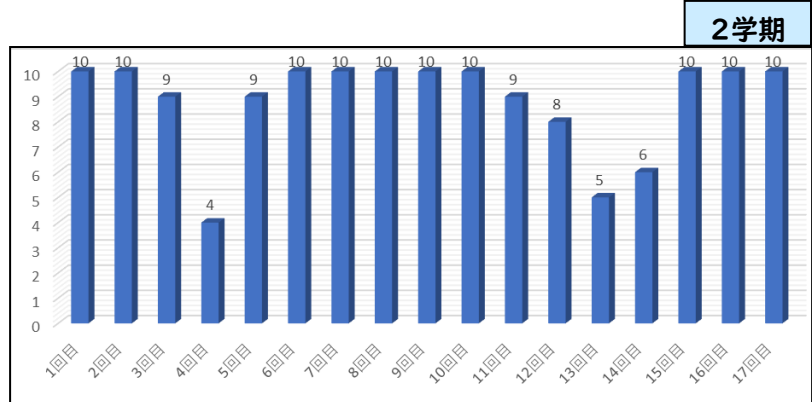
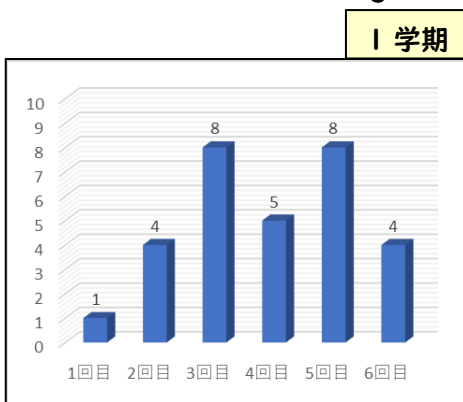
○定期テストの結果の推移



2年生1学期中間テストは1年生3学期末テストと比べて5教科合計が30点以上、期末はさらに10点以上アップした。1学期と比べると、2学期中間テスト5教科合計が40点程度下がったが、期末では15点以上アップした。精神的に不安定な状況となり、テ

ト範囲が膨大な範囲だった2年生2学期。それでも1年生3学期末5教科合計よりも上がっていた。計画的に課題に取り組むことができるようになり、学習の基礎・基本を「One Note」を使って確認できたことが、今回の結果に繋がったと考えられる。一番苦手な「数学」の点数がアップしたことは対象生徒にとっても驚きだった。「テスト前の「オンライン」での復習も良かった」と言っていた。「国語」では、書ける漢字が増えてきた。「英語」は2学期いつも以上に頑張ったが、点数が上がらず気持ちが非常に落ち込んだ。3学期の「課題テスト」では、20点以上点数がアップした。単語が書けるようになり、それが結果に繋がった。「ミスがなければ、まだ20点は上がる」と次のテストへの意欲を見せていた。

○単語テスト・URAWSS-Englishの結果の推移



1学期 6月実施			2学期 12月実施		
E→J 課題	文字を見て 回答	音声読み上げを 聞いて回答	E→J 課題	文字を見て 回答	音声読み上げを 聞いて回答
評価	C	B	評価	A ↑	B
J→E 課題	アルファベット 表記	カナ表記	J→E 課題	アルファベット 表記	カナ表記
評価	C	B	評価	A ↑	A ↑

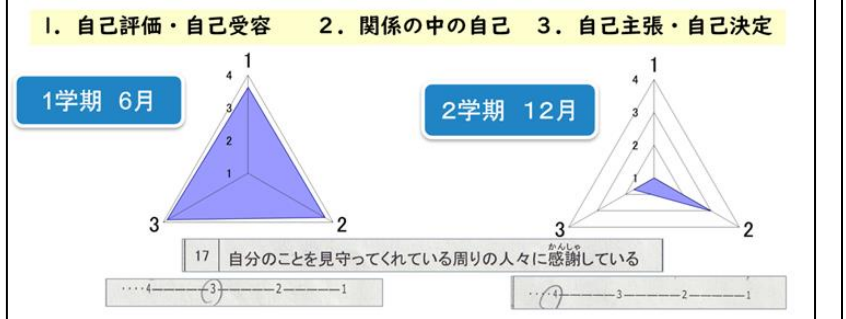
単語テストは日本語から英語に変える問題で、毎回範囲は10問と決まっている。問題の単語はアルファベット順に出題されているので取り組みやすい。1学期は満点を取ることはできなかったが、2学期は満点を取ることが多くなった。2学期後半は情緒面が不安定になり、満点が取れず悩んでいた時期もあったが、3学期は気持ちが安定し、満点を多く取れるようになってきている。以前は通級指導教室に来て、一緒に練習をしないと覚えられなかったが、今は自分一人で頑張ってテスト勉強をしている。

URAWSS-Englishの結果についても、評価が上がるだけでなく課題を解くペースも早くなり、制限時間内に何度も見直しができるまでになった。

○自尊感情測定尺度【東京都版】

東京都版自尊感情測定尺度を6月と12月の2回実施した。グラフの結果より、どの項目においても測定値が下がっていた。

6月は再開前に実施したので、新しい学年の期待もあり、右のような結果になったと考えられる。実際学校が再開後の12月は、さまざまな問題、特に人間関係のトラブルから、すべてを「だめだ」「できない」と思う傾向にあった。自分を厳しく評価し過ぎるところがあり、このような結果になったと考えられる。ただ「17:自分のことを見守ってくれる周りの人々に感謝している」項目については



点数が上がっていた。これは先生方の温かい声掛けや対応が彼女に伝わっていたことが窺える。

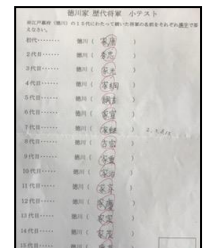
3学期、目標を立てるため、今までの振り返りを行った。「学校の生活面」については、「100点中200点満点」、「学習面」については「100点中80点」と答えた。理由は、「タブレットで勉強を頑張ったから」で、残り20点に向けて「テスト勉強を、いつもよりも頑張りたい」「課題で忘れていたところもあったので完璧に仕上げたい」と言い、非常に前向きだった。2学期はできないところに

捉われて「すべてだめだ」と思う傾向にあったが、3学期は前向きに捉え、自己肯定感は高まってきているように感じた。

・その他エピソード

○歴史のテスト(社会)

徳川家歴代将軍をすべて覚えることが冬休みの課題で出され、その確認テストが実施された。最初は全く覚えられず、校長に相談し「1・3・5・8・14・15代将軍を覚えれば良い」とアドバイスをもらった。「One Note」を使って必死に練習した。最初はこの六人の名前を覚えるだけでも大変だったが、頑張っ



社会小テスト

○タイムラプス

「課題をどれだけ頑張ったか見て欲しい」と動画を見せにきた。タイムラプスで自分の課題をしている姿を撮影していた。「見た?私これだけの課題をするのに5時間以上かかったんやけど、タイムラプスでみると、この努力が数分やで。」「何か虚しさを感じる」と言っていた。「頑張ったな。昔と違って集中力出てきたね」と褒めると、「そうやな、私頑張ってるよな」と言い、点数の結果だけではなく、頑張った過程も、自分で認められるようになってきた。

○お守り

クールダウンのために通級指導教室に来た時があり、その時はとても気持ちが高ぶって泣いていた。それを見た中学1年生の生徒が自分の作ったアイロンビーズを「これあげるわ」と言って対象生徒に渡した。「これは元気になるためのお守りやな。大切に。これ持ったら教室で頑張れるわ。」と答えた。それ以来、胸ポケットにいつもこのお守りを入れている。



お守りのアイロンビーズ

○その後の友達関係

2学期、友達関係の問題で情緒が不安定だったが、3学期は先輩の友達ができ、以前のように明るく元気に過ごせるようになった。朝早くに2人で登校し、すべての先生に挨拶をしている。今はその先輩といることによって楽しく過ごせているが、先輩が卒業したらその後どうなるか心配している。友達関係のトラブルに対して、気持ちの安定を図りながら指導していきたい。

【今後の見通し】

来年度は中学3年生になるため、情緒の安定を図りながら、進路に向けての積極的姿勢を育てたい。